

2017
3

長崎県の“土木”のいまがわかります

NO. 31

長崎県

DOVOC 通信 ながさき

特集
1

長崎港の整備が着々と進められています

特集
2

ものづくりの現場で活躍する女性たち

「現場百景 ～ここから生まれる新しい景色」

DOVOC インフォメーション



表紙写真/2017年3月 長崎港小倉柳埠頭 ガントリークレーン設置状況

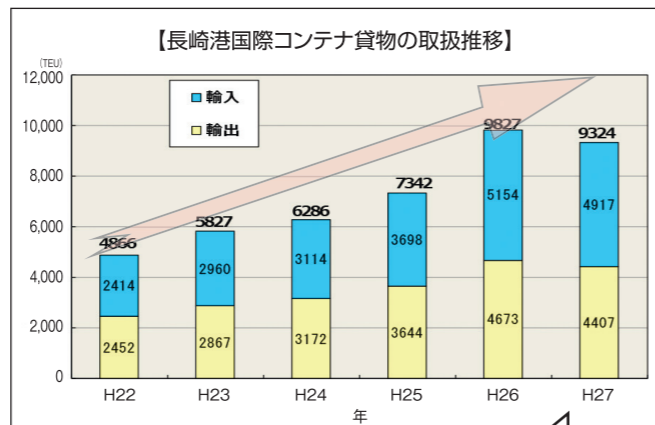
長崎港は、元龜2年(1571年)に開港、その後1636年の出島の完成により国内唯一の貿易港となるなど、常に世界と向き合い、近代日本を牽引してきました。

現在の長崎港では、経済成長が著しい東アジアとの地理的優位性から、クルーズ船が急増するとともに、国際貨物の取扱量も増加しています。

このため、松が枝国際観光船埠頭では、大型化するクルーズ船に対応した既存岸壁の延伸工事を行っています。

一方、県内唯一の国際コンテナ埠頭である長崎港小ヶ倉柳埠頭では、コンテナの積込・積卸作業の効率化のため、今月ガントリークレーンを設置しました。

県では、このクレーン稼働により、さらなる貿易拡大を図っていく予定です。



輸出は、古紙、機械、中古機械など
輸入は、船舶資材、果実缶詰など

<Before>

- ・コンテナ取扱本数は、1時間あたり20本。
- ・取扱貨物に制約あり。



タイヤマウント式クレーン

県内初!

先端を上げるとまさにキリンのよう!

作業速度が向上
作業時の揺れが低減

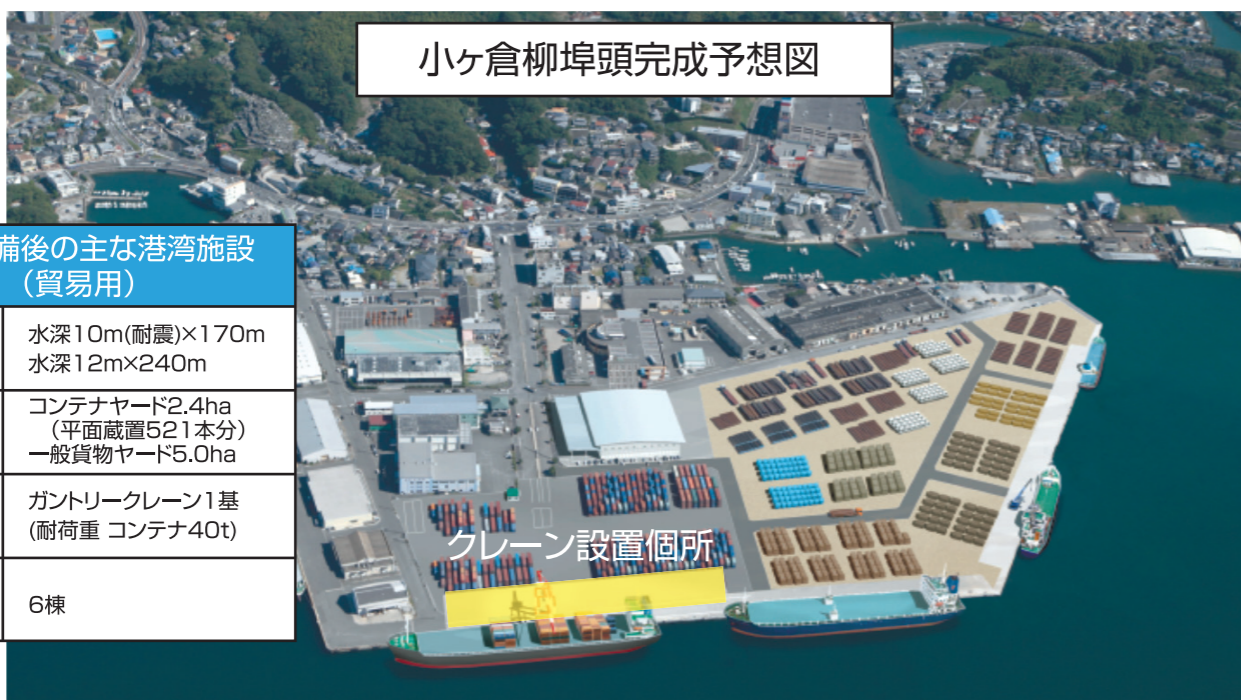
<After>

- ・コンテナ取扱本数は、1時間あたり40本。
- ・大型コンテナ貨物も取扱可能に。(クレーン能力35t→40t)
- ・精密機械も取扱可能に。



ガントリークレーン

小ヶ倉柳埠頭完成予想図



拡充整備後の主な港湾施設 (貿易用)

岸壁	水深10m(耐震)×170m 水深12m×240m
埠頭用地	コンテナヤード2.4ha (平面積置521本分) 一般貨物ヤード5.0ha
コンテナクレーン	ガントリークレーン1基 (耐荷重 コンテナ40t)
貨物保管用上屋	6棟

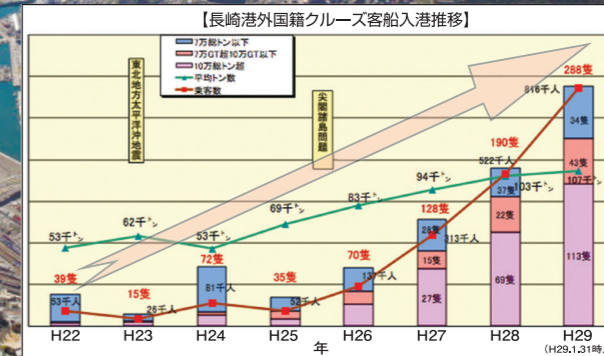
クレーン設置個所

長崎港の利便性向上により、県産品の輸出拡大を図る!

県内唯一の国際コンテナ埠頭。
コンテナ取扱量が増加。

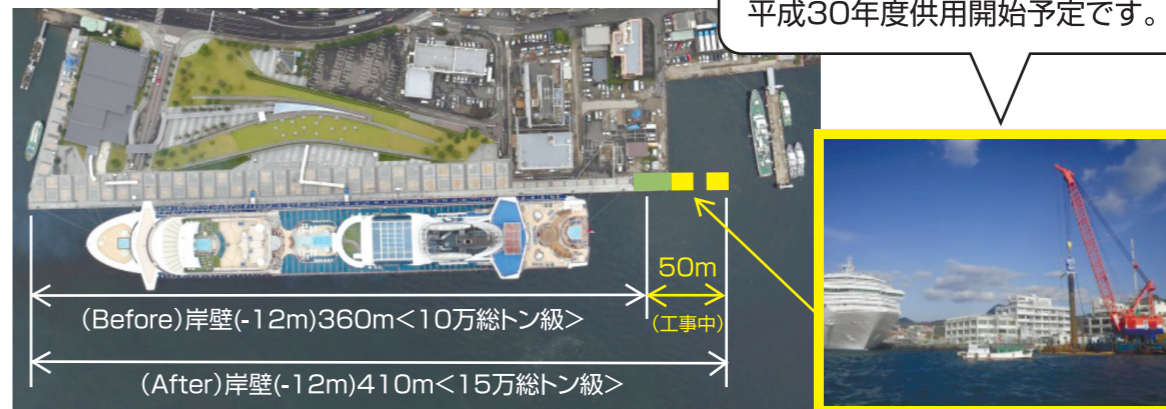
物流エリア
(コンテナターミナル)

観光エリア



今年は、約300隻が入港予定。
客船の8割が、国内で最初に入港するファーストポートとして長崎港を選択しています。

現在、受入環境改善のため、既存岸壁の延伸工事中。
平成30年度供用開始予定です。



現場百景

ここから生まれる新しい景色



①第1岩松トンネル 切羽(きりは)。ロードヘッダーで切り崩した土をショベルカーとホイールローダーで排出している。



ちわたがわ
②千綿川橋りょう 見晴らしのいいこの場所は、車内からも、電車を見る人からも絶好のポイントになるだろう。



しおつるがわ
③彼杵トンネルと塩鶴川橋りょう建設予定地 線路は山々を貫き、谷を越え伸びていく。



④大村車両基地(手前は製作中の橋桁) この現場では、トンネル掘削で排出された土を利用し盛土されている。



九州新幹線西九州ルート(武雄温泉・長崎間) 工事延長：約67km

九州新幹線 西九州ルート

ドガガガガッー 重機がものすごい唸りを上げ作業している。二月下旬、粉雪がきらきら舞う中、私は新幹線のトンネルを掘っている現場を訪れた。九州新幹線西九州ルート(武雄温泉・長崎間)は、全長67kmのうち実に6割がトンネルで構成されているという。山々が連なり、平地の少ない長崎県ならではの工事なのだろう。この日訪れた現場では、ロードヘッダーによって切り崩された切羽の土砂を、ショベルカーとホイールローダーが手際よく片付けていた。現場に行き毎回感心するのは職人さんたちの技だ。狭いトンネルの中であれだけ大きな重機を迷いなく動かしていく様に見とれてしまう。私ときたら軽自動車の車庫入れですら緊張するのにな。

トンネルのほかに車両基地を作っている現場も見せていただいた。広大な土地を重機が盛土し基地の地盤を作っている。この土はトンネルを掘った際に排出されたものを利用しているのだという。複数同時進行で工事をしているからこそできることだ。県をまたぐほどの大工事なのですがスケールが大きい。

新幹線が開業するのは2022年の予定。新幹線が開業すれば他県への移動時間が短縮され、いわば心理的距離がぐっと近くなる。本州はもちろんのこと、「近くて遠い九州」内での移動もぐっと楽になる。もちろん長崎県から出かけるだけでなく、他県からも多くの人が訪れるようになる。新幹線は、九州内でもどこか切り離された感じのある長崎県と他県をつなぐ、文字通り太い「幹」になるだろう。



小島健一

二〇〇四年から大人の社会科見学をはじめ、社会科見学ブームを作る。長崎の地域振興に関わるため二〇一一年より長崎へ。現在長崎大学インフラ長寿化センター特任研究員。著書に「社会科見学に行こう」「ニッポン地下観光ガイド」などがある。

高校生ものづくりコンテスト全国大会(北海道)優勝

昨年の11月12日から13日に北海道の苫小牧工業高等学校で開催された、第16回高校生ものづくりコンテスト全国大会測量部門に長崎県立鹿町工業高等学校土木技術科3年江頭龍成、近藤亮、山口蒼鳳のチームが出場しました。競技は、全国9ブロックの代表9チームに開催地から1チームを加えた10チームで実施されました。全国大会は、当日の朝まで大雨で、雨天時の課題になる可能性も十分にありました。しかし、「最後の大会は晴天時での課題で決着をつけたい」という三人の願いが通じたのか、天気が急転し、晴天時の課題となりました。大会では今までの練習の成果を全て出し切るという気持ちで臨み、雨の影響で足下が悪く少し戸惑うことはありましたが、落ち着いて競技に集中することができました。外での作業は設定タイム通り終了することができました。計算では、途中ミスに気付いたものの、制限時間いっぱいまで何度も何度もチェックして、なんとか誤差を1mmにとどめて時間内に終了することができました。その結果九州勢初の優勝をすることができました。

■問合せ先:長崎県立鹿町工業高校(Tel.0956-65-2611) <http://www.news.ed.jp/shikamachi-th/>



日本風景街道『ながさきサンセットロード』 一斉清掃イベントを実施しました

『ながさきサンセットロード』は、平成19年11月26日に登録された県内唯一の日本風景街道で、11月26日は『ながさきサンセットロードの日』として制定されています。



平成28年11月には、総延長約340kmを舞台とした一斉清掃イベントを開催し、沿線22会場において、総勢1,042名もの皆様に参加していただきました。

■問合せ先:推進協議会事務局(長崎県土木部道路維持課)(Tel.095-825-0504)

第28回長崎県まちづくりの絵コンクールの審査結果

今年度もたくさんの作品のご応募ありがとうございました。受賞作品92点が決定いたしました。

【概要】

- 対象:長崎県内の小学生
- 応募期間:平成28年6月1日(水)～9月9日(金)
- 応募総数:1,189点(129校)
- 表彰数:最優秀賞 1点
優秀賞 5点
入選 15点
奨励賞 71点

■問合せ先:

長崎県土木部都市計画課
(Tel.095-894-3033)

詳しい審査結果は



【最優秀賞作品】

島原市立第四小学校4年
前田 壮太さん

第16回長崎県木造住宅 コンクール 作品募集

あなたの家を
応募しませんか?

- 新築部門
- リフォーム部門
- 空き家再生部門(予定)

■応募要件:長崎県住宅課ホームページをご覧ください

■応募期間:平成29年4月3日(月)～5月31日(水)必着



【第15回新築部門最優秀賞】大村市K邸

■問合せ先:長崎県土木部住宅課(TEL095-894-3104)

県内の土木・建築に関する情報を発信しています! <http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/ichimannin/top.html>

「1万人、土木・建築体験プロジェクト」ホームページ

県内の土木・建築に関するイベント情報を発信しています。

facebookページ『よかばい!長崎の土木』

「DOVOC通信ながさき」では、読者の皆様からのご質問・ご感想をお待ちしています。

宛先◎〒850-8570 長崎県土木部建設企画課 ☎095-894-3021 FAX095-894-3461 ✉s08080@pref.nagasaki.lg.jp